

早めに
ログイン登録を!

「認定資格者専用サイト」を開設。 認定資格者限定で、 DiSC関連の豊富な情報が 入手できます。

HRD社のホームページに、「認定資格者専用サイト」が開設され、資格者の新規登録を受け付けています。このログインに登録できるのは、「DiSC認定セミナー」（「DiSCインストラクター資格取得セミナー」）で資格を認定された方のみです。ログインすると、有資格者は、各種商品の最新情報、商品の購入、FAQ、プレゼン各種ハンドアウト資料など、DiSC関連を中心とした豊富な内容をゲットできます。有資格者は早めに登録の手続きをお済ませください。

有資格者だけに提供される これだけの特典

「認定資格者専用サイト」は、有資格者に以下のような特典を用意しています。

① DiSCに関するFAQが読める

DiSCの活用に関して様々な質問がHRD社に寄せ

られていました。多数の質問から共通するものを集約し、FAQの形式にまとめました。DiSCに関する基礎的な質問から、運営上の留意点、具体的アプリケーション、活用場面まで多岐にわたります。資格者の疑問解消及び事前の質問対策としても活用できます。

② オンラインで各種商品購入が可能になる

「認定資格者専用サイト」を利用すると、オンラインで商品購入が可能となり、それぞれの立場による価格の把握が、価格表から知ることができます。

③ プレゼン・ハンドアウト資料などの ダウンロードができる

有資格者が、いつでもインターネットを通じて、DiSC関連のパワーポイント資料および「プレゼン・ハンドアウト資料」など、ファシリテーターに必須な資料をダウンロードすることができるのが、「認定資格者専用サイト」の大きな特徴です。

④ Inscape Publishing商品の 最新情報をゲット

DiSC関連商品の解説、その他最新情報が資格取得者にのみ情報提供されることになりました。



進化する「DiSC認定セミナー」 2日間から3日間への延長で、DiSC理論の理解が深まり 実践的プログラム作成を可能にする

「DiSCインストラクター資格取得セミナー」は、2005年5月、「DiSC認定セミナー」と改称され、この名称変更とともに、「ファシリテーター用キット」「DiSC アライブ! DVD」「カードゲーム」などが新たに導入された。セミナー内容の充実に伴って期間も2日間から3日間に延長され、受講者からもその充実ぶりが評価されている。

DiSC® Classicファシリテーターキットを配布。 DiSC理論のバックボーン理解が深まる

3日間の「DiSC認定セミナー」では、HRD社がファシリテーター（研修導入者）に向けて開発した「DiSC Classicファシリテーター用キット」が配布されることになった。

このファシリテーター用キットには、DiSC理論のバックボーンである「マーストンモデル」についての詳細な解説が記されている。マーストンモデルを正確に学習することによって、DiSC各要素の違いや表れ方を理解できるようになり、「iとS、SとCの違いが分かりづらい」といった反応が解消された。

人間の内面をも解釈するDiSC Classicの妥当性、信頼性に対する信頼度がゆるぎないものとなるた



め、ファシリテーターにとって、DiSCに対する確信がいっそう強くなったと評価されている。

セミナー台本による実践的プログラム作成

「DiSC Classicファシリテーター用キット」のマニュアル第Ⅱ巻のセミナー台本と、パワーポイントによるハンドアウト資料（CD）も提供され、これらを活用して、受講後ファシリテーターは、容易に、かつ高品質でプログラムを作成できるようになった。このほか、研修目的別の実習も豊富に提示されると同時に、パワーポイントやハンドアウト資料もすべて用意されている。

「DiSC アライブ! DVD」を体験

「DiSC認定セミナー」には、「DiSC アライブ! DVD」を活用した実習も組み込まれている。たとえば、DiSC別部下への個人面接シーンをグループ観察し、DiSC別の効果的な適応法を映像と言語によって学習することになる。グループによる学習は、多角的な視点からの適応を作り出すことができ、ファシリテーションの容易さ、効果性を実感することができるわけだ。

「DiSC別問題発見ロールプレイング」を 充実させる

さらに、「DiSC認定セミナー」は「DiSC アライブ! DVD」の体験後に、「DiSC別問題発見ロールプレイング」を約3時間にわたって実施している。受講者は「DiSC アライブ! DVD」による学習の成果を取り入れることができるため、ロールプレイングに対する抵抗感が薄れ、質の高いシミュレーションが可能となっている。

従来はロールプレイングにかけられる時間に制約があったが、3日間にセミナー期間が延長されたことによって、内容の濃いロールプレイングが可能になった。受講者の関心の高いコーチング、カウンセリング、コンサルティング、セールスなど、さまざまな分野でのスキルをロールプレイングを通じて習得することができる。

2種類のカードゲームを体験する

DiSC別の行動傾向の違いを、言葉の選択によって実感することができる「Quik DiSCカード」実習が、DiSC Classicの研修の前に行われ、DiSC理解のためのウォーミングアップ効果として好評である。

さらに、「DiSCカード」は受講者のDiSCの理解度を確認するグループ対抗のゲームにも活用されており、5分程度の短い時間で、DiSCを包括的に理解するツールとして、好評を博している。

PPSS活用事例の紹介。各種アプリケーションの充実

「DiSC認定セミナー」では、主に事例研究会で発表された内容を中心にして、PPSS(Personal Profile System Software)の活用事例が随時紹介されている。マネジメント、コーチング、キャリア開発、チームビルディングなど、さまざまな局面での事例は、ファシリテーターにとって極めて実践的な情報となり、トレーニングに厚みを増しているのだ。

アクションプランナーについても、MAP、SAP、CSAPのラインにMPAP、DiSC-TALK、RAPが順次加わって、充実したアプリケーションを提供している。

問題解決プログラム作成が体験できる

セミナーの仕上げは、受講者が実践的に問題解決プログラムを作成することだが、最終日の最後のカリキュラムには「トレーニングプログラム作成」が組み込まれ、DiSCを使っての問題解決プログラムの作成を体験することになっている。

プログラム作成に当たっては、組織内に存在する真の問題点を抽出し、グループメンバーとの事例交換、アドバイスを通して、DiSCの活用場面、効果的運営方法を明確化していく。このような実践対応の優れたプログラム作成体験は、ファシリテーターの能力・技能の向上を確実なものにしていると好評である。

認定証が交付され、受講者の動機付けに

「DiSC認定セミナー」の3日間修了者には、認定証が交付されることになった。認定証には、資格者の権利、資格者及びHRD(株)双方の義務が明示されており、資格者のモチベーションを高めている。

なお、従来の「DiSCインストラクター資格取得セミナー・2日間コース」を修了した方でも、3日間の「DiSC認定セミナー」を再受講すれば、交付される。



「DiSC認定セミナー・3日間コース」の意義と成果 ファシリテーターの精神的、物理的な負担を軽減。 2日間コース資格取得者の再受講希望者も増えている

従来の「DiSCインストラクター資格取得セミナー・2日間コース」では、レクチャー中心の知識学習のウェイトが高く、とすれば受講者は受身の姿勢になりがちだった。「DiSC認定セミナー・3日間コース」に変更後は、従来からの「DiSC好事例作り」に加え、「Quik DiSCカード」などのカードゲーム、各種グループ討議、ロールプレイングが盛り込まれ、参画型、体験型の時間が大幅に増加、受講者はより積極的にセミナーに参加するようになったといえる。

受講者の傾向としては、企業が抱える問題を解決する目的でDiSCの導入を前提とした参加者が大幅に増えたことだ。それは、受講者の質問によく表れており、解決

したい具体的問題を示し、導入者、講師の立場からの質問が増えていることから明らかだ。

それはまた、受講後のアクションが早くなったことにも表れているが、導入商品もDiSC ClassicとDiSC アライブ! ビデオ、各種アクションプランナー、DiSCカードなどと多様化し、さまざまな局面でDiSCを柱としたファシリテーションが実施されていることをうかがわせる。

そしてなによりも、従来の2日間コースでは、ファシリテーターが、人材研修の実施に当たって、準備段階で精神的、物理的に大きな負担を担っていたが、3日間コースに変更後は、充実したセミナー内容により、その負担が大幅に軽減した。

このようなことから従来の2日間コースの資格者からの再受講の問合せも増えており、毎回一定の枠内で、リーズナブルな価格設定によって、再受講を受け付けている。

EPICとは何か。 EPICはファシリテーターに どんな利益をもたらすのか？



EPIC (Electronic Profile Information Center) は、Inscape社の最先端の学習ツールをインターネット経由でお届けするためのオンラインシステムです。

●トレーニング時間の 有効活用と生産性の向上

EPICを利用すると、研修参加者はあらかじめオンラインでの回答が可能となり、実際のトレーニング時間を有効に使うことができます。

●回答時の精度の向上

EPICは、「回答設問語句の意味説明機能」「回答漏れの防止」「集計ミスの解消」「正確なグラフ作成」など、学習ツールへの回答時の精度向上を実現しています。

●研修運営の向上

・参加者にプロフィールを回答させ、即時ダウンロードした場合には、結果レポートを読み込んだ上で

の事前課題を提示でき、事前の動機づけが可能になります。

・グループ全体の傾向分布を事前に把握でき、ファシリテーターの事前準備とフォローアップ提案を促進させます。

●機能的な管理が可能に

EPICシステムの管理者（アドミニストレーター）は、Inscape社のオンラインへのアクセスを管理し、機能的な運営を可能にします。

・アドミニストレーターは、世界中の誰にでもEメールで回答のためにアクセスコードを発行することが可能となり、マルチロケーション・ビジネスのニーズに理想的なプラットフォームを提供します。

TMPがニュー・バージョンに

洗練された表紙デザイン、明瞭な表現にブラッシュアップ

TMP (Time Mastery Profile®) が、
ニュー・バージョンになりました。

表紙は、グローバルスタンダードに合わせて、
より洗練されたデザインに。

内容も設問、解説の表現が現在のオフィス環境に
適合させたものとなりました。

翻訳文の再チェックにより、

明瞭で平易な表現にブラッシュアップしています。



日本DiSC研究会 第3回勉強会開催 「DiSC®を活用した人事考課者訓練」を テーマに展開

DiSC認定資格者の有志で結成されたメーリングリスト形式の研究会在、2004年4月から活動を開始しています。資格者の情報交換の場として設けられた研究会は、テーマ、スピーカー、開催日の決定、会場探しなどすべてメンバーによって運営されています。2005年12月に第3回の勉強会が開催され、クリスマス直前の祭日にもかかわらず、会場となったHRD社ミーティングルームは、16名の研究会員で満席状態となりました。

人事考課に「ステージ」を活用する

「日本DiSC研究会 第3回勉強会」のテーマは、「DiSCを活用した人事考課者訓練」で、スピーカーは、(有)オフィス多紀 代表取締役多紀道元氏に依頼しました。多紀氏は、過去の人事考課を管理した体験から、DiSCを使った考課者訓練の可能性を10年以上にわたって探っていました。

多紀氏はメーリングリストのやりとりで、「DiSC Classic」のステージⅢ（典型的プロフィール・パターン）の活用方法を深める論議に触発されました。多紀氏が着目したのは、各プロフィールパターン解説中の「他人を判断する基準」でした。

「自分の基準に叶う社員は過大評価し、自分の基準を大きく下回る社員は過小評価する」という偏りがあることを示すことによって、公正な評価の重要性に気づき、評価の留意点を学習する動機づけになるのではないかと考えたそうです。

スピーカーのオープンな情報提供に感謝

多紀氏は実際に初めて実施した「DiSCを活用した人事考課者訓練」のコンテンツを発表してくれました。

導入企業からの聞き取り情報（役職別、成果への考課配分など）、提出した企画書、カリキュラム、費用見積もり、使用したパワーポイントまで、すべ



てオープンに示していただいたのです。

多紀氏はさらに、人事考課者訓練を準備する上での苦労話も紹介されるなど、共有できる情報をできるかぎりオープンにされました。

参加者は、人事考課者訓練という新たな提案の引き出しが増えた喜びや、典型的プロフィールパターンの情報の奥深さに改めて気づき、大きな収穫を得たようでした。同時に、研究会会員は、長年の経験と持っておられる情報を惜しむところなくすべて提供していただいた多紀氏に深く感謝していました。

参加者の感想の一部紹介

ステージⅢの使い方が大いに参考に

DiSCの奥行きの高さ、広がりを感じるとともに、ステージⅢの使い方新しい視点を導入していただいたような気がします。DiSCを活用した人事考課について、大変参考になりました。多紀さんがオープンに情報をシェアされたことがすばらしかった。



※「日本DiSC研究会」は、認定資格者のボランティアで結成されたメーリングリスト上の情報網であり、HRD(株)が主催するものではありません。

※一人の情報発信は自動的に全員に配信される仕組みですが、企業のセキュリティ、PC環境によっては配信されない場合もあります。

第2回DiSCフォーラム開催のお知らせ EPIC導入事例など実践的な内容を提供する

有資格者を対象としたDiSC関連商品の商品説明や導入事例を公開する「第2回DiSCフォーラム」が2006年8月30日（水）に開催されます。DiSCが関わる人材開発環境は、ここ数年急激に変化しており、弊社としてもInscape社が開発する最新のテクノロジーを日本のマーケットにご紹介する責務を強く感じております。今回はWeb版プロフィールに対応するEPIC（Electronic Profile Information Center）の導入事例、TMP（Time Mastery Profile）の説明や導入事例など、内容も豊富。ファシリテーターにとって、きわめて実践的なフォーラムとなっています。

開催要項

開催日：2006年8月30日（水）
場 所：世界貿易センタービル（東京浜松町）
時 間：13:00～18:00（12:30受付）懇親会18:00～

プログラム

- ◆ EPIC導入事例
ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス
人事部 アソシエイト 石毛久美子氏
- ◆ EPICオンラインプロフィールの仕組み
HRD(株)
- ◆ タイムマネジメント研修へのTMP導入事例
AIG株式会社
能力開発部 トレーニング・マネージャー 新條千佳子氏
- ◆ TMPファシリテーターキット
HRD(株)
- ◆ 研修効果の定着に向けて
聖マリアンナ医科大学病院 看護師長 伊藤正子氏 榎田三枝子氏
- ◆ 懇親会

● PPSSがEPICから入手可能に!

EPICには、既にDiSC Classic1.0が搭載されています。今後、PPSS、TMPをオンライン教材として利用できるよう準備を進めています。これによって研修参加者は、オンラインで回答すると、即時に結果レポートが入手可能となります。研修の事前課題とすることができるため、時間の有効活用が図れます。

● Inscape Global Partner ConferenceにHRD社から参加 グローバルマーケットに対応したサービスの提供を推進

Inscape Global Partner Conferenceが、2006年6月16日～18日まで、アイルランドのダ



ブリンで開催された。米国を除く世界各国のビジネスパートナーが参加し、文字通りグローバルマーケットを意識したカンファレンスとなった。

カンファレンスでは、IPI社の近年の成長ぶり、新商品開発の現状などがレポートされた。新商品ニュースとしては「Everything DiSC」の開発が注目される。これは、DiSCの豊富なアプリケーションをすべてファシリテーターに提供するファシリテーション・システムで、英語版、海外版と開発が進んでおり、今後日本でもマーケットのニーズに対応して、商品化を検討する価値があると思われる。

● 関西地区DiSC認定公開セミナー再開されます

三洋ヒューマンネットワーク社の組織変更のため中断していた、関西地区DiSC認定公開セミナーが再開されます。

■ 関西地区第25回DiSC認定公開セミナー

開催日：2006年10月17日（火）～19日（木）
時 間：9:30～17:30
担当講師：HRD(株)十亀